

号外 そよかぜ

号外

令和2年5月発行

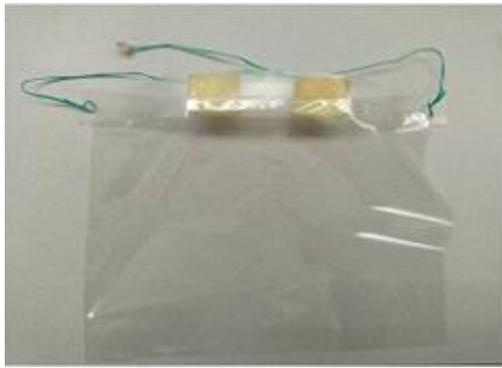
羽島市民病院
ふれあいプロジェクト委員会
岐阜県羽島市新生町3-246
TEL:058-393-0111

手作りマスクで 地域の医療を守る

病院職員が仕事や余暇の合間にマスクやフェイスシールドなどを作成

- ・医療従事者すべてを感染から守りたい。
- ・地域住民の感染を防ぎたい。地域医療を守りたい。
- ・私に今出来ることは、うつらない、うつさないよう手指衛生は手順を守って。マスク着用は、鼻を覆って顎までも隙間を作らずしっかりと。
- ・負けるなコロナウィルスに。みんなで乗り越えよう。未来に向かって。

医療物資や資源が不足する中、「新型コロナウイルスからあなたを、あなたの愛する人を、あなたの周りの人を、私を、みんなの生活を・・・、ただ守りたい一心で。」このような思いを持った職員をはじめ、様々な病院職員が協力して仕事や余暇の合間に手作りマスクやフェイスシールド、ガウンを作成しています。材料は手術器具を準備する際に使用した清潔な不織布を再利用することで、医療資源の節約も出来ました。



現在、手作りしているマスクは、メドライン・ジャパン合同会社の手術器材を包む医療用の不織布や、手術用のドレープ（手術器材を落下細菌から守るために覆布）として使用したものを再利用しています。材質は、100%ポリプロピレンの3層構造のSMS不織布で医療用マスクと同じ素材です。